

# JR東海労なごや

2011年9月30日 No.869  
JR東海労名古屋地方本部  
発行者：山田哲也  
編集者：堀部肇

## 異常なのは季候だけじゃない

### クールビズシリーズ 5

**猛暑の夏にノーネクタイを認めない会社、  
組合員の声に耳を傾けない東海ユニオン、全てが異常!!**

**猛暑**の中での仕事、本当にお疲れさまでした。

毎年猛暑といわれていますが、東日本大震災による原発事故が発生し、電力不足による省エネが叫ばれました。企業や家庭では冷房の設定温度を上げたり電灯のスイッチを切るなど節電に努めました。多くの会社では暑さ対策としてクールビズを取り入れノーネクタイや軽装で仕事をすることを認めてきました。一方JR東海はかたくなにノーネクタイを認めません。私たちは、この間「申」や情報で夏場のノーネクタイについて会社に訴えてきました。



会社は全く現場で働く社員のことなど関係なく、イメージだけが服務規程に従え、など合理的な答えは何一つありません。

**各鉄道会社や、サービス業にいたるまでノーネクタイでクールビズ**

原発事故による省電力のみでなく地球温暖化・CO2問題など行政も他企業もクールビズには積極的です。私たちはこのような現実をふまえ粘り強く交渉を今後も続けます。それにしても最大組合のユニオンからはノーネクタイ化について声が聞こえてきません。なぜ組合員の要求に応えないのでしょうか。まさに会社同様異常です。

**ノーネクタイを実現するには、東海労しかない**

**要求を実現するため東海労に結集しよう!**